

第2回障がい者福祉検討部会での意見と対応について

No.	意見	対応	ページ
1	全国、兵庫県の中で三木市にはどのような特徴があるのかを示せるようにしてほしい。	障害者施策の年表を1章の最後に入れました。 三木市の障害福祉に使っている費用や利用者数の統計について、2章に項目を作りました。	P9 P13～
2	福祉施設から一般就労への移行について、就労支援事業終了者とあるが、B型を含めた表現方法にできないか。	国の指針であり、変更は難しい旨を会議にて回答済み。	
3	基本指針について、都道府県の役割が含まれている。市町の計画なので市町のことについて指針に含まれていけば出してほしい。	市町村がやることと県がやることで整理しました。	P12
4	身体障害のある人のデータについて、内部障がいの説明など注釈を入れてほしい。	注釈を入れました。	P16
5	自立支援医療を使っている人の内訳は出せないか。認知症や知的障害の人も入っているなら、そういうことがわかるような内容であればと思う。	注釈を入れました。	P19
6	手帳の種類が3種類あるが、重複して所持している人のデータを示す必要はないか。	複数の手帳を所持している人はそれぞれでカウントしていることを注釈に入れました。	P14
7	医療的ケアの必要な児・者について三木市の中でどれくらいの人がいるのかを示すことは考えられないか。	厚労省の研究班が出した全国の推計値しかデータがない状況です。	
8	統計資料について、三木市の実態が書かれているが、国・県のデータと比べての特徴が見えてこない。そういう分析ができないか。	手帳所持者率を国・県と比較するグラフを追加しました。	P15
9	手帳の判定区分について、1級、2級やA、Bという判定がどのようなものかの注釈を示せないか。	注釈を入れました。	P17～

No.	意見	対応	ページ
10	三木市の課題について、既に何年も抱えている課題があると思う。それを示すことはできるのではないか。	調査結果等からみた本市の障害福祉施策の課題について、アンケート調査結果等を踏まえた課題を記載しました。就労移行支援事業所の不足や児童発達支援センター・地域生活支援拠点の整備等、従来からの課題も併せて記載しました。	P43～ 45
11	目標の達成状況について、数字だけで紹介するのではなく、このような働きかけがあって達成したとか、こういう働きかけが必要とか、前回計画をこのように推進してその結果こうだったという説明が入ると、ここが足りないから頑張ろうとか三木市はここが進んでいるとか現場からの見え方も違ってくる。	「三木市の現状と方向性」という枠を作り、本市の取組の状況や未達成の課題、今後の取り組みの方向性等について、可能な範囲で記載しました。	P50～
12	国の基本指針に基づく％での目標設定は、現場の状況と乖離してくる、無理だというものが出てくると思う。国の定めた目標は変えられないものなのか。	「三木市の現状と方向性」という枠を作り、当事者の意向を尊重することやニーズに適切に対応することなどを記載しました。	P50～
13	三木市には常時受け入れ可能な地域支援拠点という施設はなくても、事業所が連携して緊急受け入れに対応する体制はとっていて、それは三木市独自のものとなっている。目標数値としてカウントできなくても、そうした取組について記載できないか。	「三木市の現状と方向性」という枠を作り、緊急受け入れの体制づくりやにじいろが専門職を配置して取り組んでいることなどを記載するようにしました。	P50～